



UIFA ニュース

発行 宇治市国際親善協会

事務局 〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書課内
電話 0774-22-3141 (内線2057) FAX 20-8776
E-mail BCH04550@nifty.com ホームページ <http://homepage3.nifty.com/uifa/>

第 55 号

平成20年(2008年)4月

19年度 宇治市国際親善協会 一年の歩み



◎平成 19 年度総会

平成 19 年度総会が、4 月 28 日(土)に宇治市生涯学習センターで開催され、平成 18 年度事業報告・決算報告、平成 19 年度事業計画・予算案等が可決承認されました。

◎ヌワラエリヤ市公式訪問団歓迎

ヌワラエリヤ市から、チャンドラ・セーカラン副市長を団長とする 4 人の公式訪問団が、8 月 8 日(水)から 12 日(日)までの日程で来宇。9 日(木)には歓迎晚餐会をパルティール京都にて開催しました。またスリランカ友の会の協力により開催した市民交流歓迎会でも親しく交流をしました。

◎宇治市咸陽市公式訪問団

9 月 6 日(木)から 11 日(火)までの日程で小沢章広収入役を団長とする公式訪問団 25 人が咸陽市を訪れ、大歓迎を受けました。市民訪問団 20 人は 13 日(木)までの日程で八達嶺(万里の長城)や北京、周荘にも足を延ばしました。

◎カムループス市公式訪問団歓迎

カムループス市から、テリー・レイク市長を団長とする 23 人の公式訪問団が 10 月 14 日(日)から 17 日(水)までの日程で来宇。

15 日(月)には歓迎晚餐会をパルティール京都にて開催しました。また、宇治国際交流クラブの協力で生涯学習センターにて開催した市民交流歓迎会でも親しく交流をしました。

◎咸陽市公式訪問団歓迎

咸陽市から呉養民人民代表大会常務委員会副主任を団長とする 6 人の公式訪問団が、11 月 28 日(水)から 12 月 1 日(土)までの日程で来宇。28 日(水)には歓迎晚餐会をパルティール京都にて開催しました。短い日程でしたが、平等院、対鳳庵、源氏物語ミュージアム、嵐山周恩来碑等を視察されました。

◎語学講座

英語と中国語の初級語学講座を各 12 回、10 月 3 日から 12 月 19 日までの毎水曜日に受講生 20 人の参加を得て開催しました。

英語講座の講師は、宇治市の AET(英語指導助手)でカムループス市のケイトリン・デューハーストさん、ジュリア・ニューマンさん、キャサリン・カーニーさんと、JET(語学指導等を行う外国青年招致事業)でアメリカのバージニア州から来られていますゼイン・ジョンソンさんが、中国語講座の講師は京都教育大学大学院で学ばれ、日本語も堪能な蔡世容さんに担当していただきました。

◎UIFAニュース発行等

UIFAニュース 52 号・53 号・54 号をそれぞれ 4 ページ・A4 仕様で発行しました。また、親善協会ホームページに事業のお知らせ等を適宜掲載しました。

設立 20 周年記念事業報告

協会設立 20 周年記念事業として「国際交流講演会」を開催しました。また、特別企画に「中国の音楽を聴く会」を開催しました。さらに、20 年の歩みの記録保存に取り組みました。

国際交流講演会

- 第 1 回 4 月 28 日 (土) 宇治市生涯学習センター
咸陽市出身の呂楠さん「咸陽と宇治」
- 第 2 回 6 月 16 日 (土) ゆめりあうじ
JICA シニアの迫和成さん「大草原の国モンゴル」
- 第 3 回 9 月 29 日 (土) ゆめりあうじ
スリランカ料理店を経営のサマン・ペレラさん

中国音楽を聴く会

- 10 月 7 日 (日) 黄檗山萬福寺
宇治市日本中国友好協会の協力を得て開催しました。



第 5 回 1 月 19 日 (土) 市民会館

友好都市カナダ・カムループス市からの AET (英語指導助手) の三人 ケイトリン・デューハーストさん、ジュリア・ニューマンさん、キャサリン・カーニーさんによる「カムループス市と宇治」についての講演
宇治国際交流クラブの新春交流会と合同で開催し、JET (語学指導等を行う外国青年招致事業) でアメリカのバージニア州から来られています AET のゼイン・ジョンソンさんの進行により約 100 人の参加者が交流を深めました。

第 4 回 12 月 15 日 (土) 宇治市生涯学習センター 「森と湖とおとぎ話の国フィンランド」

第 4 回は「森と湖とおとぎ話の国フィンランド」と題して宇治市在住のフィンランド人エーバ・ペウフクリネンさんにフィンランド共和国の紹介をしていただきました。

「私はエーバです。フィンランド人は頭の切り替えが早いです。」「冬は寒い、太陽は昇りません。でも、家はあたたかいです。」「フィンランドは 6・7 月が綺麗。紅葉はあります。オーロラの綺麗なところはラップランドです。」「フィンランドも日本も水が美味しい。美味しい水で入れるお茶は美味しい。日本人は美味しいお茶を少し入れる。フィンランド人はお茶を少ししか入れないのはケチンボだと思う。」「日本語は難しい。私は汚い『ゴキブリ』にまで『御』をつけることは要らないと思ったので、『キブリ、キブリ』と一生懸命言ったのに通じなかった。」「といった楽しい話でフィンランドを紹介されました。」「作曲家のジャン・シベリウス」「ムーミンの作者トーヴェ・ヤンソン」「サンタクロース」「携帯電話のノキア」の話や女性参政権など多彩な話題で、ひとときフィンランドに訪れた気持ちになりました。

約 50 人が参加、交流を楽しんでいただきました。

平成 20 年度宇治市国際親善協会 講演会及び総会 案内

平成 20 年度の総会をご案内の「国際交流講演会」に引き続き行います。講演会・総会への多数の会員の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日頃は協会事業へのご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

国際交流講演会

テーマ 「ハンガリー共和国から」-そしてペーチ市-
講 師 スイラージ・ピーターさん
日 時 平成 20 年 4 月 26 日 (土)
午後 2 時から 3 時 20 分
場 所 生涯学習センター 第 2 ホール
定 員 70 人
対 象 会員・一般市民
入場料無料 (当日会場へ)

ハンガリー

今川 博 記



蒙古斑、蒙古民族を祖とする人類の証。

日本人もその流れを汲む民族である。中央ヨーロッパにも同じ流れを汲む人達がいるという。

ハンガリー。「ハンガリー」「ブダペスト」の地名くらいしか知識のない、距離も認識も遠い国である。

過日ハンガリー在住の鍋倉真一日本国特命全権大使が宇治市を訪問された折、お話を聞く機会を得た。

ハンガリーで 5 番目の都市である「ペーチ市」が日本との交流を強く希望されており、外務省が中心に候補先を検討された結果、宇治市に「白羽の矢」を立てられたとのこと。両市が「歴史と伝統を持ち、風光明媚な土地柄」であることが推薦の理由であるらしい。

大使自身、宇治市を訪問されるに当たり、ペーチ市をご自身で見聞され「自信を持ってお勧め出来る街」と確信されたとの事である。

外務省直々のご推薦を受けたのであるから我々宇治市民にとっても誇らしいことである。



そんな経緯を含め大使ご本人からハンガリー事情のいくつかをお聞きした次第であるが、冒頭の「蒙古斑」の話もその内のひとつである。その外には

- ① ハンガリー人は非常に親日的な国民である。
- ② ペーチ市は歴史が古く、文化の高い街で市内に世界遺産の教会もある。
- ③ 安くておいしいワインで有名。
- ④ 日本企業も多く進出、地元との交流もうまく行っている。
- ⑤ 「ふるさと」「さくら、さくら」を日本語で歌える人が多い。

日本国特命全権大使といういかめしい職名から連想するイメージとは全く異なり、温和で気さくな鍋倉大使のお話を聞いているうちに「ハンガリー・ペーチ市」が非常に身近な街へと変わってきた。

以来、ネットで種々の情報を見聞するにつれ、益々興味は高まりつつある。是非、一度訪問したいものである。

面談後、宇治市長、宇治市議会議長からのコメントが出されたが「既に 3 姉妹都市を持つこと」「昨今の経済状況、或いは市の財政状況等」を配慮されてのことと思うが、宇治市自身が積極的に引導することが難しい状況で「是非、民間ベースでの盛り上げを…」とのことであった。

昨今、団塊世代の定年退職が続き、ヨーロッパ圏の都市との交流に関心の高い方も多いようにも思われる。是非この機会を有効に生かしたいものである。

カムループス日系人会館の再建募金のご協力を！

宇治市の友好都市カナダ・カムループス市の日系人会館が去る 2 月 4 日に火災に遭いました。入り込んでいたホームレスが使用した電熱器が漏電を起こし、屋根が落ちる火災となりました。幸い、館内でサークル活動に取り組まれていた 40 人ほどの人たちは素早い避難で難を逃れましたが、会館は大きな損害を被りました。そして日系人協会の皆さんは会館を再建するため、募金やチャリティ事業を始められました。宇治市とカナダ・カムループス市とは平成 2 年 7 月 1 日に友好都市盟約を締結し、以来今日まで文化、スポーツ、経済などの広い分野で活発な市民交流が行われてきています。これまで公式訪問団等の訪問団がカムループス市へ訪問した際には、日系人協会の歓迎を受け、カムループス市に在住の約 300 世帯、約 1000 人の日系人の方々との交流も発展させて参りました。この度この残念な知らせに接して、早速に「カムループス日系人会館再建世話人会」を発足して日系人会館再建のための募金活動を始めることとなりました。日系人会館はカムループス市との友好交流を発展させていくうえでの、交流の拠点施設として無くてはならないもので、当親善協会におきまして再建への積極的な協力をして参ります。世話人会におきまして皆様方の浄財を集められるにつき、皆様方のご協力をお願いします。



“訪問を終えて”

宇治市太極拳協会 会長
水谷 弘子 記

宇治市太極拳青少年訪中団

平成19年8月11日～19日

平成に住む中国武術を愛好する帰国子女との付き合いは、今から5年前の偶然ともいえる出会いから始まりました。近頃はあまり聞かれなくなった表現ですが、本当に「きさんじ」な子供たちでした。同世代の周りの子供たちにとっては、教科書で少し学習する程度の歴史なのですが、その歴史の戦争が自分の家族と重なり、好むと好まないに関わらず、生まれた故郷を離れ、言葉、習慣の違う地で戸惑い、内面には自分はいつたい日本人なのか、中国人なのかと悩みを抱えながらも、すなおに懸命に生きている子供たちに熱いものを感じました。このような環境をプラスの方向に持っていけないのか・・・そう思っていたときに、咸陽市との友好都市盟約締結20周年の記念事業の少年少女卓球交流大会が行なわれる事になり、通訳として同世代の橋渡しの役割を任されたのです。子供たちの中では、家族間での中国語の会話で果たして通訳が出来るのかとの思いや、咸陽の選手と一緒にホームステイ、初めて経験する日本の家庭、不安と期待の中で取り組んだ5日間だったと思いますが、立派にこなしてくれたのです。親しくなった宇治側の選手から「君ら、中国語が喋れてホンマにかっこええな」と言われたのが、最高に嬉しかったようです。

平成19年の夏休みに、上海での武術研修、咸陽では同世代の子供たちとの武術交流、一昨年来宇した卓球の選手たちとの再会等を目的にした訪中団を、彼らを中心に編成、8泊9日の日程で行って参りました。上海では中国の最高レベルのスポーツ選手が集まる上海体育技術学院では、今までに見せたこともない真剣な眼差し、体の隅々まで意識が充満した動作等にご子供たちの秘められた能力を見せつけられました。咸陽市では、子供たちは武術学校の生徒宅にホームステイを経験、ホームステイ先の子供たちとは武術交流の場所だけではなく、市内観光、「咸陽の子供たちに本を贈る会」から託された贈本活動、「宇治友好の森」の見学等の行動を共にして友好を深めたのです。武術友好大会が行なわれた体育館には1年前に来宇の卓球選手が応援に駆けつけてくれ、その後昼食を共にして、話が弾み、久々の再会を楽しみました。武術交流での彼らは決して咸陽の子供たちに引けをとらない演武を見せてくれました。外事弁公室副主任の門亜莉女史に「宇治の子供たちのひたむきな演武を見て、感激の涙が出ました。」と仰って頂きました。この子供たちの成長に期待して、見守っていききたいと思います。



雑感雑観



宇治市はこの二十年間に亘り、スワラエリヤ市（スリランカ）、咸陽市（中国）、カムループス市（カナダ）と友好都市交流をしてきました。行政・市民両面からの交流が活発に行われていて成功しているといえるのではないのでしょうか。

先般、宇治市がハンガリーのペーチ市よりの交流の申し込みをいただいたとのことで、在ハンガリーの鍋倉大使からその紹介を受ける場に同席する機会を得ました。

ハンガリーは、ヨーロッパで古くからの歴史ある国で、八カ国に囲まれてそれらの影響を受けながら、長くバプスブルグ家の庇護のもとに音楽・絵画・建築など磨き上げられた芸術、文化の国です。陶器を好きな人なら知らない人のないヘンドを生んだ国でもあります。宇治にも源氏物語をはじめお茶など古い歴史もありますのでこんなラブコールが来たのかもかもしれません。宇治市として「今すぐには」との話して現実に戻りましたが「市民レベルでの交流を前向きに」考えるという話にもなりました。

ヨーロッパ大陸との新しい国際交流が出来るなんて夢のようです。（小永井）